



ユニキャリ ユニキャリロング

取扱説明書

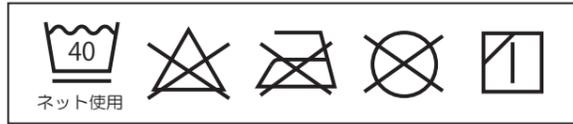
(おんぶパーツについては別紙説明書をご覧ください)

この説明書は、ユニキャリを適切にお使いいただくための大切な項目が記載されています。お使いになる前によくお読みいただき、またいつでも見られるように大切に保管してください。

清潔にお使い頂くために

ユニキャリは洗濯をすることができます。洗濯をする場合は、バックル類の損傷を防ぐ為、また他の洗濯物を傷めることが無い様に必ず洗濯ネットに入れるか収納袋に収めて行ってください。

家庭洗濯等取り扱い方法



入浴・プールなどで使用した後は、ニオイやカビの発生を防ぐ為、必ず陰干しをして乾燥させてください。

主材の組成 表地 ナイロン78% ポリエステル22%
内部メッシュ ナイロン75% ポリエステル25%
バックル 樹脂製品(POM)

使い方いろいろ 広がる世界

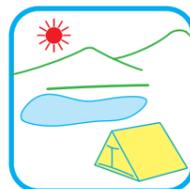
ユニキャリが、生活のお役に立つことを心より願っております。



緊急避難



食事



レジャー



入浴



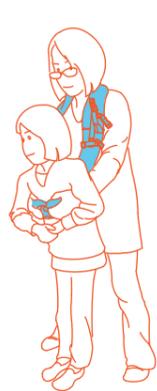
おんぶ(*)

(*)「おんぶ」はオプションのおんぶパーツが必要です。

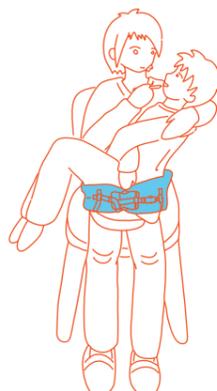
あなたのもう一本の手として、さまざまな場面でご使用ください。



抱っこに



歩行介助に



食事介助に



ちょっとした移動で



ユニキャリは、2013年
キッズデザイン賞を受賞
しました

製造元

製品にお気付きの点や不明な点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店、又は下記までご連絡ください。

株式会社 Lee 製作室
(<http://lee-lee.jp>)

〒910-0374 福井県坂井市丸岡町北横地 40-9
TEL : 0776-50-1105 FAX : 0776-50-1106
MAIL : lee-s@k3.dion.ne.jp

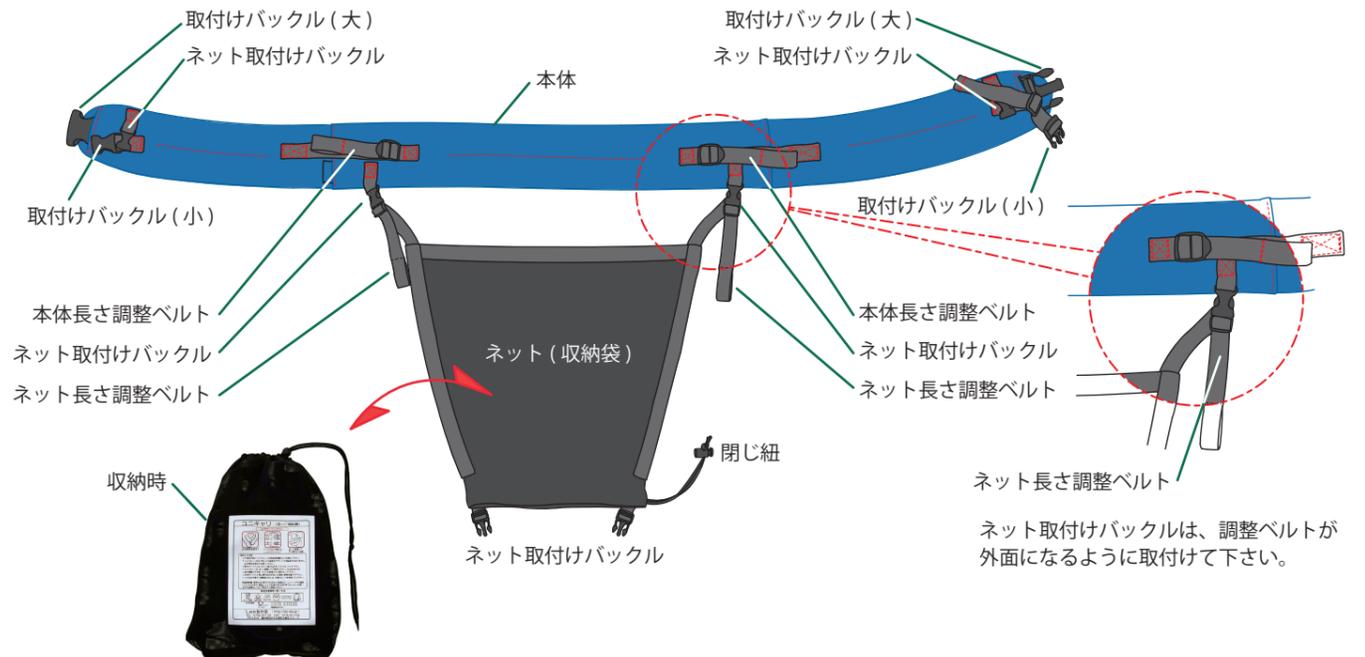
取扱いについて

必ず守ってください

- ご使用前に、本体やバックルなどに傷や変形が無いか確認してください。傷や変形・縫製部分にホツレ等の生じた製品は使用しないでください。
- ユニキャリは使用時に強い力がかかります。破損の原因になるので製品の改造等は絶対にしないでください。
- 本体長さ・ネット長さ調整ベルトは無理に引っ張らないでください。長さ調整をする場合、ベルトにかかる荷重を軽くして行ってください。
- 本体やバックルの劣化・変形を防ぐ為、熱湯で消毒したり高温になる車内に放置しないでください。また、サウナ等の高温環境での使用はしないでください。
- 車椅子やカーシートなどへの移乗時に、お子様に装着したまま外す場合は、落下の危険がありますので特にご注意ください。
- バックルなど樹脂部品は踏んだり、衝撃を与えたりしないでください。

各部名称

下図の面を外面・反対側を内面と表記します



ネット取付けバックルは、調整ベルトが外面になるように取付けて下さい。

使用手順 (抱っこ)

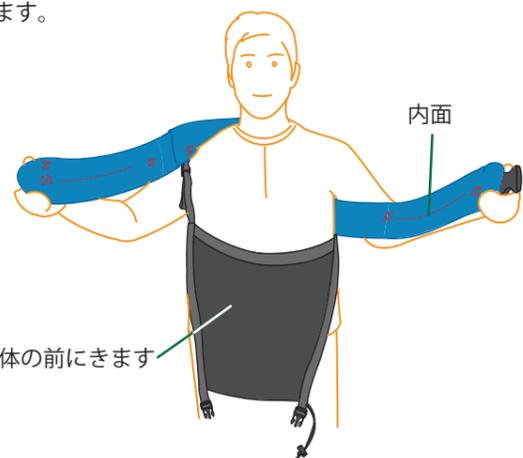
※おんぶパーツの使い方は別紙説明書をご覧ください

1 ユニキャリを斜め掛けにして両端を持ちます。



反った形状を図の向きにあわせて使用します。

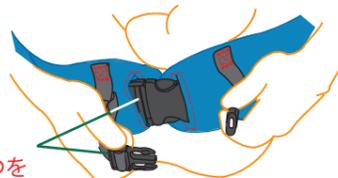
※利き手と逆の腕を抜きます。
(下図は介助者が右利きでお子様の頭が左にくる場合)



2 ユニキャリの両端を持ちながらお子様を横抱きでかかえ、バックルをはめます。

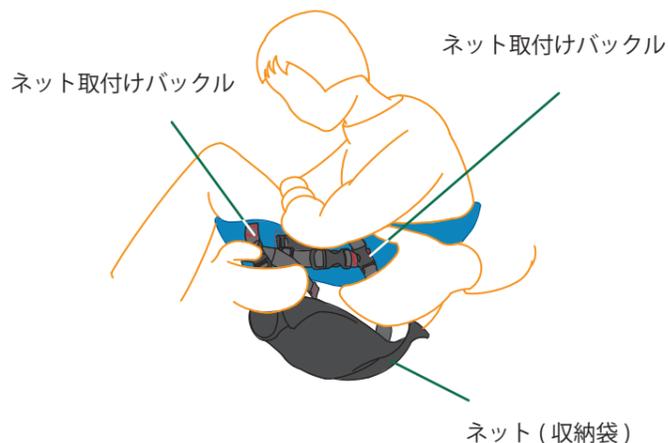


バックルは(大)(小)の二つを必ず、しっかり固定してください。



3 ネットを取付けます。

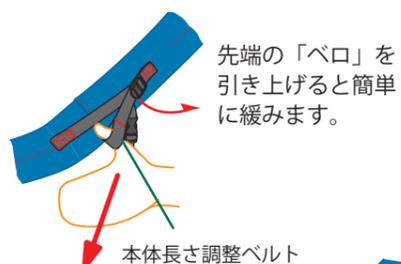
低緊張の方や小さいお子様を抱っこする場合、また、ユニキャリを使い慣れるまでは、必ずネットを使用してください。



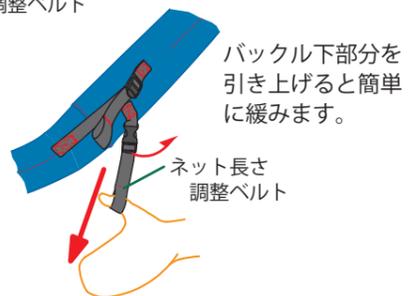
ネットを使用しない場合はお子様の状態や、姿勢の安定の様子をよく確認してください。万一の事故や落下を防ぐ為、普段もネットを使用することをお勧めします。

本体とネットの長さ 調整方法

ユニキャリ本体をできるだけ短くして体を引き付ける感じにすると、安定した状態になります。



本体長さ調整ベルト



ネット長さ調整ベルト

本体長さ・ネット長さ調整ベルトは無理に引っ張らないでください。長さ調整をする場合、ベルトにかかる荷重を軽くして行ってください。

※小さなお子様の場合、装着前における程度長さを調整してご使用ください。

楽な装着のポイント

※あくまでも基準ですので、個々のケースでは該当しない場合があります。

◎ 一番楽な装着

△ 肩甲骨の上部にベルトがある

△ お子様の頭部が外側にある



△ 下に落ち込みやすくなります。



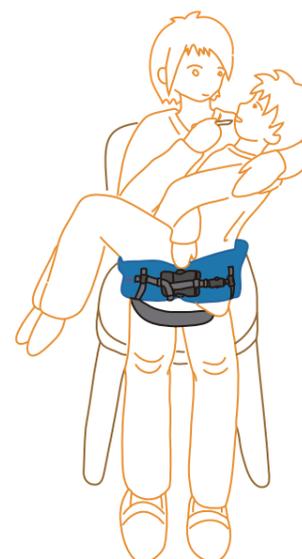
△ 介助者の負担が大きくなります。

- ・ベルトはちょっと窮屈くらいがちょうど良い。
- ・肩甲骨の下あたりにベルトが来るように。
- ・お子様の頭を自分の肩に乗せるようにすると負担が減ります。

ユニキャリのみで抱っこの姿勢をサポートする製品ではありません。姿勢のくずれや万一の事故に備えて、必ず両手を添えてお使いください。

食事介助について (使用例)

ユニキャリのタスキを外して、椅子でご使用になると食事介助が楽に行えます。ユニキャリがお子様の腰を安定させる為、食事介助に集中することができます。



《注意》

ユニキャリが下がり過ぎるとお子様の姿勢が安定しないので、椅子の背もたれと背中ユニキャリを挟んで、ユニキャリが下がらないようにしてご使用ください。